育友会定期総会を開催

2008年度育友会定期総会が5月31日、生田キャンパスで開かれた。本部・支部役員、大学役員・教職員など203人が出席、議案の審議、諸報告が行われ、本部役員の選出では新会長に日南川裕一氏が選出された。

▼ 203人が出席し議案を審議（円内は松田会長）

新会長に日南川裕一氏

あいさつする
日高学長

総会は三谷啓子副会長の司会で進行、松田了会長が「今年度はいくつかの委員会を設置し、課題を検討し幹事会で審議してまいりました。本日の総会でその内容をご報告させていただきます」とあいさつ。次に日高義博学長・理事長が「育友会は専大の良いところを発信する〝基地〟として重要な役割を担っております。優秀な学生が卒業後も〝社会知性の開発〟を発信していただけるものと信じています」と期待の言葉を述べた。議事では、松田会長が議長となり「07年度事業報告・収支決算報告」「08年度事業計画（案）・収支予算（案）」「育友会創立50周年記念事業」など6つの議案を審議し、満場一致で承認された。

人事報告のあと、新任役員の紹介が行われ、日南川新会長が「50周年記念事業を確実に行っていきたい。学生募集や就職活動にも協力したい」とあいさつし、退任役員を代表して松田前会長が「長かった1年でしたが、役員の皆様のご協力に感謝しております」と謝意を述べ閉会した。

▶ 記念広報誌

50周年記念事業を着実に

福岡から東京への転勤後に長男が商学部に。「3人姉弟の一番下なので記念にと思い、入学式に出席しました」。そこから育友会とのかかわりが始まり、監査役、副会長を経て創立50周年の節目の年に会長を務めることとなった。

記念事業の一環の記念広報誌『×10　10倍よくわかる専修大学』は、「活躍する卒業生の姿などを紹介し、『育友』の目から専大の魅力をわかりやすくPRしています」と制作の意図を説明する。記念事業は、書籍『専修大学創立者物語』（仮題）の刊行、10月の記念式典・祝賀会と続くが、「まずは、それぞれの記念事業を着実に実行することが第一の仕事です。その上で、大学の創立130年記念事業に、どのようにかかわることができるか。創立60周年に向けて中期的目標をどう設定するか。長期的視野で考えなければならない大切な時期と認識しています」と静かに語る。

今夏の支部懇談会は、函館・札幌、東京（A・B・C）、神奈川（東・西）、福岡（博多）・熊本、愛媛・香川会場に出席予定。「本部の考えを伝え、『育友会』へのご理解を深めていただき、ご要望などをいただく身近な交流ができる場です。率直なご意見をお聞かせください」と出席を呼びかける。

「ニュース専修」や会報「育友」で学生の力を伸ばすサポートシステムを知り、さまざまな大学の情報を得ることで、息子とコミュニケーションをとるきっかけになったという。

「一昨年の『就職懇談会』で、内定した学生から『進路について親はあまり口出しせず、信頼してほしい』という体験談がありましたので、息子にはポイントごとにアドバイスするよう心がけました。高校時代に比べ、ずいぶん成長したと感じています」と話す。

趣味は山歩きとサッカー・野球などのスポーツ観戦。福岡県出身。54歳。

新会長の横顔

日南川（ひながわ）　裕一さん

2008年度育友会事業計画

活動方針

専修大学のサポーターとして大学の発展と学生育成のための教育事業を支援するとともに、会員相互の親睦（しんぼく）を図るための活動を継続的に行う。

☆50周年記念事業の完全実施
☆支部懇談会の充実と参加者の増加
☆育友会広報活動の充実とアンケート調査の収集
☆支部活動の充実と広がり
☆情報の共有と電子化の推進

〈事業計画要旨〉

1　家庭との連絡強化
2　育友会広報活動の強化
3　育友会ホームページの充実
　更新数を増やし、リアルタイムな情報提供を行う。
4　会議の開催
　①定期総会②全国支部長会③常任役員会④幹事会⑤各種委員会（創立50周年記念事業・『育友』編集、ほか）
5　支部懇談会の開催（全国68支部）
6　就職懇談会の開催
　経済の動向・学生の活動・大学の指導等の情報を提供する場として実施
7　学内施設見学会の開催
8　大学への助成
　会員に送付する「修学状況通知書（成績）」の作成・送付費用を助成
9　学生に対する援助
　①学生自治会及び学術文化会・体育会・連合県人会・公認サークルが主催する行事や活動を援助
　②図書館「育友文庫」（昭和40年度開設）の充実③鳳祭における「お休み処・育友」の出店と、出店サークル団体の補助④育友会奨励賞を募集し、努力や成果を表彰⑤家計急変・災害罹（りさい）災学生の援助（奨学金支給）
10　海外育友会への協力
11　本部と支部との連携強化
12　支部活動への支援
　「支部活動特別援助金」制度で、活動を支援
13　校友会との提携
14　アンケート調査の実施
15　育友会創立50周年記念事業の推進
16　専修大学創立130年寄贈事業の計画
　09年の専修大学創立130年に向け、大学と連携して寄贈事業の計画・検討を進める

育友会定期総会、支部懇談会、事業計画などの詳細は7月発行の「育友」114号、育友会ホームページ（http://www.ikuyuu.com/）をご覧ください。

▼ 全国の支部長らが意見交換＝神田キャンパス

全国支部長会で活発な議論

続く6月1日には、神田キャンパスで全国支部長会が開かれた。本部役員、支部長ら約120人が出席、今年度の活動について意見を交換した。

庄　菊博主任

三島英雄専修大学副理事長、庄菊博育友会主任のあいさつの後、日南川会長を議長に、議事を進行。まず、森合正志監査役が今年度の活動スケジュールと、支部総会・懇談会等の運営について報告。次に菅沼堅吾副会長が育友会創立50周年記念事業の一つ、書籍『専修大学創立者物語』（仮題）の制作・出版までの経緯を説明し、各支部に販売協力をお願いした。事務局からは支部活動特別援助金についての説明が行われた。引き続き質疑応答で、支部懇談会開催にあたっての確認や、書籍『専修大学創立者物語』（仮題）への協力案について議論が交わされた。

2008年度育友会役員一覧

◆会長・副会長・監査役

会長	日南川裕一（新）	釧路	帯広
副会長	渋谷　勉（新）	網走	福井　良三
〃	名雪　等（新）	青森	中野渡久人
〃	神成　邦興（再）	岩手	伊藤　明穂
〃	菅沼　堅吾（再）	宮城	伊藤　雅章
〃	石岡　泰子（新）	秋田	岡部　守
〃	三谷　啓子（再）	山形	高橋長一郎
〃	井本　重喜（新）	福島（中通り）	橋本孝三郎
〃	岡崎眞知雄（新）	福島（浜通り）	吉村昭一郎
〃	青木みどり（新）	福島（会津）	山口　惠司
〃	髙田　賢一（新）	茨城（水戸）	市毛　新一
〃	戸谷　勤（新）	茨城（県南）	葉梨　昭一
〃	柳澤　伸代（新）	栃木	坂本　一男
監査役	森合　正志（新）	群馬	新船　永子
〃	永田　武司（新）	埼玉	河田　雅計
〃	青木　秀和（新）	千葉東	植田　恒男
〃		千葉西	金崎　直子
〃		東京A	宮脇　孝義
〃		東京B	盛島　伸江
〃		東京C	荒木　佳子
〃		東京多摩	五十嵐　純
〃		神奈川東	土谷　修
〃		神奈川西	吉田　正昭
〃		新潟（新潟）	倉島　淳子
〃		新潟（長岡）	三冨　春司
〃		富山	藤城　隆
〃		石川	福島　正人
〃		福井	土谷　行洋
〃		山梨	高野　聖子
〃		長野（長野）	若井　一仁
〃		長野（松本）	村田　徹
〃		岐阜	川添　堅治
〃		静岡（静岡）	望月　仁
〃		静岡（浜松）	金原　健一
〃		静岡（沼津）	杉田　絹代
〃		愛知（名古屋）	藤田　節雄
〃		愛知（豊橋）	前田　哲宏
〃		三重	松上　宏子
〃		滋賀	北村　和成
〃		京都	谷口　吉浩
〃		大阪	吉岡　千秋
〃		兵庫	竹村たえ子
〃		奈良	中　英人
〃		和歌山	向畑　省吾
〃		鳥取	永田　憲男
〃		島根	安井　均
〃		岡山	富山　均
〃		広島東	谷野　敬子
〃		広島西	西村　祥史
〃		山口	林川　基治
〃		徳島	新開　詳弘
〃		香川	林　勇志
〃		愛媛	松森陽太郎
〃		高知	溝渕　由美
〃		福岡（博多）	小田　憲昭
〃		福岡（小倉）	中村　勇希
〃		佐賀	久原　輝子
〃		長崎	石橋ゆかり
〃		熊本	大倉　義郎
〃		大分	髙橋　道広
〃		宮崎	酒井　裕子
〃		鹿児島	山元　幸子
〃		沖縄	比嘉　恒治

◆支部長

函館	丹羽　潤	千葉東	土谷　修
苫小牧	嶋岡　清一	千葉西	吉田　正昭
札幌	堂田　和幸	金崎　直子	倉島　淳子
旭川	小蕎　勝則	宮脇　孝義	三冨　春司
		盛島　伸江	藤城　隆
		荒木　佳子	福島　正人
		五十嵐　純	土谷　行洋
		奈良	高野　聖子
		和歌山	若井　一仁
		鳥取	村田　徹
		島根	川添　堅治
		岡山	望月　仁
		広島東	金原　健一
		広島西	杉田　絹代
		山口	藤田　節雄
		徳島	前田　哲宏
		香川	松上　宏子
		愛媛	北村　和成
		高知	谷口　吉浩
		福岡（博多）	吉岡　千秋
		福岡（小倉）	竹村たえ子
		佐賀	中　英人
		長崎	向畑　省吾
		熊本	永田　憲男
		大分	安井　均
		宮崎	富山　均
		鹿児島	谷野　敬子
		沖縄	西村　祥史
			林川　基治
			新開　詳弘
			林　勇志
			松森陽太郎
			溝渕　由美
			小田　憲昭
			中村　勇希
			久原　輝子
			石橋ゆかり
			大倉　義郎
			髙橋　道広
			酒井　裕子
			山元　幸子
			比嘉　恒治

（敬称略）

MIZUHO　みずほ信託銀行
Channel to Discovery
信託のちからが、
お客さまの夢をかなえます。
信託のちから、それは
お客さまから「信じて託された」大切な資産を
責任をもって管理・運用し、育てていくちからです。
みずほ信託銀行は
「お客さまから最も信頼される信託銀行」をめざして
信託のちからをフルに発揮します。
ホームページ http://www.mizuho-tb.co.jp/

新しいクオリティへ、新しいスピードで。『りそな』
HUMAN COMMUNICATION
りそなの窓口は
平日午後5時まで営業。
口座開設・お預入れ・ご解約などもお取扱いいたします。
窓口営業時間は各営業店により異なります。（一部午後7時まで。午後5時以降は、窓口では現金のお取扱いを致しておりません。）一部お取扱いができない業務がございます。詳しくは店頭または、コミュニケーションダイヤルまでお問合せください。
りそなコミュニケーションダイヤル 0120-24-3989（サンキューパンク） 24時間受付
※土曜4:00～7:00、土曜21:00～日曜8:00、日曜23:00～月曜7:00の時間帯を除きます。年末年始、ゴールデンウィークにつきましては、受付時間が異なる場合があります※時間帯やお取引内容により、一部お取扱いできない場合があります。
※プッシュ回線または、プッシュ音の発信可能な電話機からご利用ください。
〈ホームページアドレス〉http://www.resona-gr.co.jp/resonabank
りそな銀行
RESONA